

小型家電リサイクル法を活用した事業の実施について

平成二十六年から実施することを目
標に掲げ、取り組む

町長



根本孝代

問 平成二十五年四月一日に、「使用済み小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」、通称「小型家電リサイクル法」が施行されました。使用済みの小型電子機器などに使われている金属など有用な資源をリサイクルするための法律です。

近年、美里町の荒廃農地などに、DVDレコーダー、炊飯器、電子レンジ、扇風機などさまざまな小型家電製品が捨てられるケースが散見されると聞いています。その中



小型家電

に含まれるベースメタル（鉄や銅など）、レアメタル（金・銀・リチウム・プラチナなど）は貴重な資源です。それらを含む小型家電を、美里町が認定事業者と連携して回収し、資源化できれば不法投棄解消の一助にもなると考えられます。小型家電リサイクル法を活用

し、リサイクル事業を実施するお考えはないか伺います。

また、町でできないのなら、児玉郡市の首長間で協議し、児玉郡市広域市町村圏組合で実施できるように働きかけができないか伺います。

答 町長 通称「小型家電リサイクル法」は、アルミ・貴金属・レアメタル等を含んでいながら、これまで一般廃棄物として処理されていた使用済み小型家電について、その再資源化を図る目的で施行されました。

市町村は使用済み小型家電等を収集し、リサイクル業者等への引き渡しに努めることが義務づけられており、過度な負担のない範囲で速やかな対応を求められ

ています。

児玉郡市の市町では、職員レベルで構成する児玉郡市清掃行政研究会において、昨年度から回収体制等について検討を進め、平成

二十六年から実施することを目標に掲げ、取り組むこととしています。同研究会は児玉郡市広域市町村圏組合での実施についても議論をしています。

寄居PAスマートーC整備事業について

道路線形の変更の要望が出ており、調整中です

問 寄居パーキングエリアスマートインターチェンジ整備事業は、平成二十八年十月開通予定で進んでいると聞いています。本年度は路線測量委託、用地購入費ほかとして、二億二、四七九万円ほど予算

化され、アクセス道路の買収等、周辺地域の土地所有者の意向調査等が主な施策として挙げられています。中でもアクセス道路の買収は、約三年後の開通に向けて最も重要であり、また、非常に難しいことであると思います。買収に関する進捗状況について伺います。

定した用地測量及び用地買収への着手が遅れています。また、アクセス道路の沿道に農産物の加工・販売所等の設置や企業の誘致などを検討していますが、課題は計画道路の周辺一帯が農振農用地であり、農地転用について県農林部と協議を行なっています。用地測量や買収の着手が遅れているため、道路整備に道筋を立て、地権者の意向調査を行ない、その際に地権者等と立地希望企業らを結ぶ協議会の立ち上げも検討します。

役場屋上から寄居PA方面を望む



問 少子化が進む中、統合問題について見解を伺います。

答 町長 日本全国で問題となっている人口減少と少子高齢化は、美里町においても例外ではありません。今後、児童数の減少状況や複式学級基準人数等を見越して、町民の意向を踏まえ、検討する必要があると考えています。

また、小学校には地域の拠点・生活拠点という位置づけがあると思います。統合は、地域のつながりや、定住問題にかなり影響して



中嶋 敬子

小学校の統合問題について

町民の意向を踏まえ検討したい

町長

くと思うので、まちづくりの観点からも重視していかなければいけない問題と考えています。

答 教育長 今後の小学校の児童数の推移を見ても、統合は必要ないと考えています。

問 ミムリンの活用について

答 町長 町ホームページ

活動を充実させていきたい

ように活用していくのか。

答 町長 町ホームページ



また、ソーシャルネットワークワーキングサービスを利用したミムリンからの情報発信については、各市町村を参考に研究します。ミムリングッズについては、町内でボランティア活動を行っている方や七つのお祝

問 中学校が指定され、着々と事業が実施されていると思うが、その内容について伺う。

答 教育長 この事業は、県が地域の実情に応じた学力向上の手法を見出し、児童生徒の学習意欲や理解力等の向上を図るために、学力向上の課題に取り組み市町村に委託するもので、県内十市町の十校がモデル校として指定を受け、そのうちの一校が美里中学校となっています。

地域に応じた学力向上推進モデル事業について

小中学校で連携を図り、学力向上に生かしたい

美里中学校では、学力とは知育・徳育・体育のバランスであると捉え、研究を進めています。

また、学力向上のための課題を学習意欲の向上と設定し、課題解決のための方策として、

一、わかる授業・楽しい授業の構築のために、独自の問題集をすべての教科で作成。また、夏季休業中の補習学習に高校生や大学生等に指導の補助をしていただきました。ほ



美里MSミムリン

増進につながるよう活用したい。

私も、町内外のイベントに出席する際にはミムリンを同伴し、普及啓発品とあわせて美里町をPRしていきます。また、新たにお出

かけミムリン縫いぐるみや、のぼり旗、入りやすい着ぐるみを制作し、ミムリンの活動を充実させていきます。議員の皆様、町民の皆様にもご協力いただきたい。

かに講演、研修も行ないたい。

二、家庭学習の定着のために、手引きと家庭学習ノートを作成します。

三、学級経営・学習環境の充実のために、学校生活適応検査を年二回実施するとともに、検査の見方や生かし方について研修を行ないたい。

その他キャリア教育の充実等を掲げ、研究を行ないたい。

また、中学三年生が卒業前に、夢に向かって自分の意見を発表する立志式や学習オリエンタリングを開催、さらに講演会や先進校の視察等も行ないたい。

この研究の進捗状況は、町内小学校にも随時提供し、小中連携を図るとともに学力向上に生かしていきたい。

◎その他の質問
・障害者、高齢者に優しい事業運営を

住民の健康づくり運動の推進と保健医療体制の充実について

町長

町民が元気で暮らせるまちづくりを推進します



櫻 沢 克 幸

課題等についてお聞きします。

答 町長 平成二十年四月策定の実施計画に基づき、受診機会の拡大や受診しやすい環境づくりに努めていますが、平成二十四年度の受診率は三二・二％で、国の特定健康診査等実施計画の目標値六五％を下回っている状況です。

現在、受診率をさらに向上させるために、個人通知や広報・電話連絡等で受診勧奨に努めております。

今後は、未受診者への対策が課題であり、これまでの運営方法や課題を踏まえ、集団健診と個別健診併用の方法を検討し、なお一層の特定健診受診率向上を目指します。健診結果においては、血糖と高血圧を中心とした予防対策・生活習慣病予防対策・特定保健指導の充実にも努め、町民が元気で暮らせるまちづくりを推進してまいります。

問 特定健康診査及び受診率向上対策・健康予防対策・

国民健康保険の財政状況と課題、家族介護支援事業の推進と今後の支援強化対策及び、国保の

制度改革の課題等についてお聞きします。

答 町長 特別会計運

営の国民健康保険事業の実質収支状況は、毎年多額の赤字であり、一般会計より毎年多額の法定外繰り入れを行なっております。平成二十三年では、一億三〇〇万円、平成二十四年度では九、〇〇〇万円余りの繰り入れとなっており、大変厳しい財政状況です。財政赤字を少しでも解消できればと、平成二十五年度は保険税率等の適正化に向けて改定を行ないました。これにより約一億円の二五％程度が解消できるものと考えております。

家族介護支援については、在宅介護支援として、介護保険利用者負担金助成事業・在宅重度要介護高齢者介護手当、及び在宅重度要介護者おむつ等支給事業を実施しております。そのほか高齢者在宅福祉として、訪問散髪サービス・徘徊高齢者等検索システム・救急通報

システム等の提供を行なっております。

今後の支援策としては、特に認知高齢者等が増加しており、その家族サポート及び心のケアを目的とした交流会や勉強会等を開催してまいります。また、行政が実施している家族介護支援施策のほか、各種ボランティアや団体を含めた地域力を生かした共助体制づくりの支援にも取り組んでまいります。

国保の制度改革としては、国では平成二十九年をめぐりに都道府県を単位とする国保の広域化を目指し、平成二十五年三月に第二次広域化等支援方策を策定しております。この方針に基づき、県では国保事業の広域化及び国保財政の安定化を図るための具体的な施策として、平成二十七年から保険財政共同安定化事業の対象医療費を拡充し、今まで十万元以上だったものを一万元以上にし、県内市町村負担の平準化

を図ることとしております。また、収納率の向上や県内どこに住んでも同じ所得なら同じ保険税となるような賦課方式や保険税算定方式、及び応能・応益割合の標準化も引き続き検討しております。

町としては、今後このような動向を注視しつつ、適正な国保事業運営に資するため、医療費等に係る国保税率等を段階的に見直していかなければなりません。あわせて滞納対策や医療費等の抑制にも努力してまいります。

◎その他の質問
・美里町観光協会の地域活性化の役割と在り方について
・再生可能エネルギー（太陽光発電）の普及・拡大・利用等について



美里MSミムリン

スマートＩＣを核にしたまちづくりは

町長

用地測量・用地買収は着手がおくれている



笹井 均

問 町長は「平成二十年五月の就任から四年間で町の課題は、おおむね方向性が示せたと考えています。また、いよいよスマートインターチェンジを核に若者が希望を持ち、プラチナ世代（高齢者）が生きて暮らし、十分な雇用があり、環境にやさしい、心豊かなまちづくりに向けた事業を全力で推進します。この間「活力ある心豊かなまちづくり」に向け、全力を傾注してきました」と言っているが、どのような「町の課題とその方向性」が示せたのか。

また、平成二十八年十月供用開始予定の寄居パーキングエリアスマートインターチェンジの進捗状況と、町の核となる企業誘致と十分な雇用確保・若者が希望を持てる施策が進んでいるのか。プラチナ世代が生きて

生きと暮らせることや、心豊かなまちづくりにについてお聞かせください。

答 町長 四年間に課題としてきたものがおおむね解決したり、解決に至らなくてもその方向性が見えてきたということです。

インターチェンジは、寄居方面のアクセス道路に一部地権者から道路線形の変更の要望が出ており、その意向等を踏まえ、調整を行なっています。このことに

より、今年度予定していた用地測量・用地買収は着手がはかっている状況です。

インターチェンジによってブルーベリーの摘み取り等も含めて、地域の資源が活用できる仕組みができました。大規模農家でない方々の小遣い稼ぎと言えるか。職業までできる。そうした場があることによって、地域の維持が図られる可能性があり、関連事業の推進を考えているところです。

町の基幹産業である農業を守る！と集落営農的な仕組みづくりを支援する

問 本町では、農地の耕作放棄地や、違反転用箇所が増加しています。農業従事者の高齢化・後継者不足をはじめ、今後についてもＴＰＰ交渉が秘密裏に行なわれたり、消費税の増税が控えるなど深刻な状況です。

町では「人・農地プラン」で町の農業をどのような方向で進めていくのか。農業経営者、地域の方を中心に十分な話し合いをしたプラ

ンの策定ができたのか。

また、町における農業の重要課題を見きわめ、これをいかに解決し、実現化していくかを主眼において「美里町農業マスタープラン」を策定し、これからの農業振興方策で基本となる「担い手の育成」「環境保全型農業の実現」「地域営農組織の確立」を三本柱と位置づけ、町の農業振興に積極的に取り組んでいくとしているが、

具体的な施策が進んでいるのか。プランを具体的に一つ一つ実現するには、農家の意識改革をはじめ、人材確保・経営が成り立つ作物の開発など、農家の実情を受け、それに対応できる柔軟な町の対応が必要であり、時間と人と資金が必要です。そうしたところに力を尽くす考えはないのかお聞かせください。

答 町長 「美里町農業マスタープラン」については、農業経営を強くする観点から、ご指摘の三つの柱を位置づけています。担い手の育成及び地域営農組織の確立は、「人・農地プラン」と一体となつて推進してきました。



天日で干すことにより いっそう旨みが増すという「はんでえ米」

をかけない農業の普及に努めてきました。

今後も、農業の抱える問題解決のため、国・県等の関係機関と連携し、これらの各プランを推進し、農業活性化が図れるよう努めてまいります。

ご指摘は真摯に承りながら、地域の活性化のためにこれからも努力していく所存です。

骨髄バンクドナー支援事業の創設について

ドナーが心配なく、骨髄提供できる環境を整えたい

町長



田端恵美子

問 ドナー提供者の立場から質問させていただきます。移植希望患者の白血球の型が適合しても、最終的に骨髄提供まで至らないケースが四割程度あります。その理由としては、通院・入院時における休業補償がない等、ドナーの負担が重いことが挙げられています。ドナーに助成することにより、提供に至るケースが増えれば、より多くの命が救われます。

しかし、適合するドナーが見つかった患者の割合が九割まで高まっている一方、

実際に患者へ移植した例は六割ほどにとどまっています。適合したドナーは移植手術に際し、事前の健康診断や採血・骨髄の採取で一週間ほどの入院・通院が必要になります。その入院費・通院費・交通費などは健康保険などから支払われます。

一方、仕事を休んだ場合の休業補償がないため、仕事を休めないなどの理由で辞退する適合者もいるそうです。本当に移植を希望しながらも移植までたどり着かず、命を落とされている方も数多くおられます。一人でも多くの命を救うために、町民の理解を深める取り組みをしっかりと行なっていきたいと強く申し上げます。

骨髄バンク累計登録者は全国で四十三万人。埼玉県では二万五、〇〇〇人を超え、年々増加しております。

答 町長 近年、白血病をはじめとする血液疾患で、骨髄等の移植を必要とする患者は増加傾向にあり、今後増加が見込まれております。



いのちを救うボランティア 骨髄バンク

骨髄を提供する際には、血液中の白血球の型が一致することが必要ですが、血縁関係者以外の場合は、その確率が数千人から数万人に一人と言われております。このため、より多くの方にドナー登録をしていただくことが望まれているところです。

昨年九月には移植を推進していくため、造血幹細胞移植推進法が公布されました。この法律では、国の責務が明確化され、適切な移植が提供できるよう、国による補助が法定化されるとともに、これまで造血幹細胞移植事業を推進してきた骨髄バンク等が支援機関である日本赤十字社と連携し、移植事業をより一層推進していくこととなりました。

現在、赤十字血液センターが運営する県内八カ所の献血ルームにおいては、骨髄移植推進財団及び埼玉骨髄

バンク推進連絡会により、骨髄ドナー登録の相談窓口が常設されております。

本町では、健康まつりの際に登録相談窓口として骨髄バンクコーナーを設置し、保健センターの窓口にはドナー登録申込書を置いて普及に努めているところでございます。ドナーが骨髄提供される際、一般的には入院や通院に一週間程度の日数を要することから、ドナーの経済的な負担軽減策も移植の推進における大きな要素であると認識いたしてお



愛の献血車

ります。

今後におきましては、既に実施している自治体の助成内容等を参考に、ドナーの助成制度の導入に向けて検討し、ドナーが心配することなく骨髄提供ができる環境を整えられればと考えております。



美里MSミムリン

全国学力テストについて

教育長

小・中学校ともに多くの課題が残る結果となりました



原田 敏夫

問 県は八月二十七日、全国学力・学習状況調査を発表しました。美里町内の小学校のテスト結果は、全国・県の平均と比べてどうなのか、お聞かせください。

答 **教育長** 全国学力・学習状況調査は、今年度四年度に小学校六年生と中学校三年生が、原則として全員が参加する全数調査で、内容は国語A、算数・数学Aの基礎的知識を見る問題と、国語B、算数・数学Bの知識活用能力を見る問題の二教科で実施されました。埼玉県の結果を見ますと、小学六年生は国語A・Bともにやや下回り、中学三年生は国語A・Bが全国をやや上回りましたが、数学A・Bが全国を下回り、算数が今後の課題となりました。美里町の状況を見ますと、小学校・中学校ともに多く

の課題が残る結果となりました。今後の対策としては、基礎的知識を問うA問題の確実な定着と、知識活用能力を見るB問題については、授業の中でこれまでに学習した知識を活用して問題を解く学習場面や、自分の考えを表現する学習などの充実を図ること等の授業改善が必要であると考えております。

問 調査結果の町民への情報開示については、国の実施要領に基づき、序列化や過度の競争につながらないよう配慮し、町・教育委員会では不開示情報としております。

答 **教育長** 学校に対する調査では、中学校では宿題も出さないと聞いていますが、年間を通じて小中学校ではどのくらい出しているのか、お聞かせください。

答 **教育長** 宿題については、小学校ではほぼ毎日、中学校では教科により違いはありますが、おおむね一週間の半分以上の日に出し

ている状況です。また、宿題を含めた家庭学習は、学校ごと、学年ごとに目標時間を設定し、家庭と協力しながら取り組んでおります。

問 当町では宿題を出さない傾向はありませんし、積極的に家庭でも学習するように働きかけていきます。

答 **教育長** 塾に通っている割合は、小学校五年生で二六％、六年生では四四％、中学一年生が三七％、二年生が五〇％、三年生が六〇％となっております。

問 小学校六年生の学習状況調査結果と比較しますと、塾に通っていない児童が六％で多くなっています。また、中学校三年生では、ほぼ同じくらいの割合となっている状況です。

答 **教育長** 塾に通っていない児童が六％で多くなっています。また、中学校三年生では、ほぼ同じくらいの割合となっている状況です。

高齢者の運転免許証返納について

返納された方を対象に助成事業を導入します

問 威勢よくアクセルを踏んだかと思うと急停止、センターラインからはみ出る、縁石に乗り上げる、高速道路を逆走するなど、認知症で判断力や記憶力が低下して事故につながる事が多く、町としても今後高齢者ドライバーの増大による事故を未然に防止するためとして、運転免許証の自主返納を促す施策が行なわれていると思いますが、町長の見解をお聞かせください。

答 **町長** 県内における六十五歳以上の高齢者の交通事故死亡者は、八月六日現在五十人となり、全死者数の約四割を占めています。その原因の多くが高齢者の加齢に伴う身体機能・運動機能の衰えであり、アクセルの踏み間違いによる事故などがたびたび報道されています。

問 運転免許証を自主返納した場合、本人としては大変不便を感じると思います。町としての生活支援などの優遇策について、お聞かせください。

運転免許証返納を



答 **町長** 高齢者運転免許証自主返納支援事業を平成二十四年度よりスタートさせました。七十歳以上で運転免許証を返納された方を対象にタクシー券二万円分を交付し、その他助成事業を導入します。

大沢小の子どもたちの命をどう守るのか

飲み水に問題はない、検査している

教育長



角田 朝枝

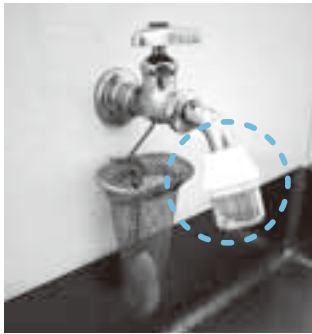
問 今年も七月に文教民生経済常任委員会で学校訪問をしました。その際に、大沢小学校の校舎改修工事が終わった後から、水道水に濁りが出るようになり困っているとお聞きいたしました。

答 **教育長** 工事後に校内の水道の蛇口からさびを含んだ水が出るようになった。原因は、校舎改修工事にあわせて受水槽を改築するため水道管内の水を抜いたことによるものと考えられます。

子どもたちが水を飲むようにすべきと考えます。平成二十四年度の決算においても、学校教育では多額の不用額が出ていました。子どもの命を考えると、早急に直すべきと思いますが、その後の町の対応はどうなっていますか。

飲み水の検査ですが、濁っているときの水なのか、透明になってからの水なのか、どのような検査をしたのでしょうか。

朝一番に蛇口を開け



フィルターをつけた「蛇口」

問 平成二十四年度で同和对策事業が終わり、集会所は地域に払い下げ、地域が管理することになりました。また、南阿那志、甘粕、駒衣に児童公園があります。町の管理とありますが、駒衣児童公園などは草が繁茂していて、とても子どもが入って遊べる状況ではありません。近所の方からは遊具を増やしてとか、公園として使いたいとの要望があります。公園周辺には家も増えてきています。今小さなジャングルジムと象の水飲み場があるだけですが、草が大きくなくて隠れてしまいそうです。南阿那志は字でお金を出して近所の人が管理をしていてとてもきれいでした。甘粕は駒衣ほどではありませんが、草でいっぱいでした。駒衣児童公園のことで聞きに行ったら水道代しか予算はないと言います。あのままだと児童公園が山になってしまいます。



きれいになった駒衣児童公園

答 **町長** 同和对策事業で三つの児童公園、他に十二カ所、合計十五カ所の小さい公園があります。駒衣児童公園は、地元の方に管理をしていただいていたのですが、その方が亡くなられて、そのままのようであり、その後が改善できないでいます。関係区長さんと調整していききたい。

庁舎などに血圧計を設置すべき

設置を増やすことは考えていません

問 役場庁舎にあった血圧計がいつの間にかありません。撤去されています。どうしたのでしょうか。

答 **町長** 近年では安価で購入できることから一世帯に一台とも言われ、多くの家庭で購入して健康管理していると聞きます。保健センターにありませんので利用してください。